

鳴滝山く「みはらし連山」縦走

三原・尾道の市街地と瀬戸内海の展望を満喫

尾道市の鳴滝山から三原市の「みはらし連山」を縦走する、歩き甲斐があり、かつ素晴らしい展望を満喫できる人気コースを紹介する。(鳴滝) 登山口バス停をスタートとし、JR三原駅を終点とする、歩行距離は約13Km、累積標高差は+1100mで、歩行時間は約6時間(休憩時間は除く)。

トモテツバスの登山口バス停から出発する。旧国道2号線&JR線路を横切り、川沿いに北へ向かう。5分も歩くと道は二手に分かれるが、どちらでも良い。3分も進むと尾道バイパスをくぐる「吉和7号トンネル」が現れるのでそこをくぐると、標識があるので、それに従い左折する。一分も歩くと、又標識があり、それに従い、民家の間を抜けて山手へ登って行く。右手前方には、木のほとんど無い「鳴滝城山(322m)」が見えてくる。右手の小さな川や民家が無くなり、ミカン畑へと入る。すぐに石垣のあるやや広い広場に着く。振り返れば、瀬戸内海が見え始めている。ここから出発して約25分。ここから、本格的な登りになるので、衣服調整も含め一服しよう。一分も登ると、分岐点①となるが、ここは左折する。すぐ右手に今は使われていない「福地斎場」を見送り、一路「鳴滝城山」左手に点在する集落を目指し登る。民家の間のきつい坂を切り切ると車道②に出る。右手を見ると、すぐの所に「鳴滝城跡(山)」への登り口があり、山頂(城跡)まで400mの標識が立っている。道は余り整備されておらず荒れており、お勧めは出来ないが、多少の藪こぎが苦にならず、山頂へ立ちたい人は寄り道してみるとよい。山頂からの眺めは良い(地図はオプショナルルート)の項参照)。城があったにしては、山頂は狭い。さて縦走路(メインルート)は左手にある。

「熊野神社」や「鳴滝山山頂580m」の標識に従い車道を離れて登る。熊野神社を右手に見やり15〜20分も登ると再び車道に合流しすぐに八注池(ヤツギイケ)③に至る。池の前に「鳴滝山公園案内図」が立っており、池や展望台を一周する遊歩道が示されている。少し先にトイレがある。又ここで寄り道として、鳴滝山(402m)山頂と思われる位置にある三角点を往復する選択肢もある。往復約30分なるも、展望は一切ない。登り口はトイレを通過し、1分程歩いて右に入る(地図はオプショナルルートの項参照)。さて、メインルートは八注池沿いに展望台へ向かうよう整備された遊歩道を進む。約15分も歩くと展望台④へ着く。ここからの眺めは素晴らしく、尾道市街や向島・因島その他の島々や瀬戸内海が望める。展望を楽



しんだら遊歩道を5分程進む。すると、遊歩道から分かれて、縦走路へと入る分岐点⑤に達する。ここから、いよいよ里山の登山道が始まる。立派な標識「鉢ヶ峰」と書かれた方向へ向かう。10分程で、三角点のあるピーク(409m)⑥に着く。ここからの瀬戸内海の眺めも良い。振り返れば、先程の展望台、行く先には、「鉢ヶ峰」や「大平山」が見えるがかなり先の方である。ピークを出発すると、深い谷筋へ急な下りが続く。25分程で分岐点に達するが、ここは標識に従い直進する。10分程で鋭角に曲がって急坂を登るポイント⑦に達する。急登に備えここで一服するのが良からう。15分弱で大平山へ直行する道と鉢ヶ峰へ行く道の分岐点に至る。鉢ヶ峰は左方向へ進む。この後は、三原山の会が設置した標識に従い「鉢ヶ峰」へ向け歩を進める。ここから歩くこと約25分、最後の頂上直下のきつい坂を切り切ると、鉢ヶ峰山頂(430m)⑧である。頂上は広いスペースがあり、景色は抜群。瀬戸内海とそこに浮かぶ島々、右手には三原市街がきれいに見える。ここでゆっくりし、食事を摂るのが最高である。大休憩が終わったら、次の目的地「大平山」へ向かう。約50分程の工程。途中に分岐が2か所あるが、標識に従って進む。電波塔の横を通り車道に出たら、すぐ大平山山頂(425m)⑨である。ここにも電波塔がある。見晴らしはさほど良くない。次の目的地「米田山」へは、車道を歩いても良いが、近道(夏場は少々荒れているかも知れないので注意)もある。この近道は短く、すぐに車道に合流し、しばらく車道歩きとなる(約5分)。海が見え始めた所に、標識⑩が立っており、再び米田山へ向け山道へ入る。坂を下った所に、学校林への分岐が現れる。ここは直進し、途中にもう一か所分岐(福寄り・糸崎駅方面)があるがここも標識に従い直進。アップダウンを2回繰り返すと、米田山山頂(357m)⑪に着く。大平山からここまでの所要時間は約35分。山頂には三等三角点があり、そこそ広く、展望が効く。近づいて来た三原市街や筆影山・竜王山そして瀬戸の海や島々が堪能できる。さて、いよいよ今回の縦走最後の山「象山」へ向かおう。急な下りが続き、登り返すと、名のない

ピークに立つ。途中分岐が2か所あるが、いずれも標識に従い直進する。このピークから近づいた象山が目に見える。進むべき道がやや分かり難いので注意する事。一度下って登り返すと象山(277m)⑫に



着く。途中右側が切れ落ちた(昔の採石場跡) 危険箇所がある。十分に注意して通過しよう。象山からの眺めも素晴らしい。特に真下に見える三原市街の中心部が手に取る様に分かる。山頂はよく手入れされており、多くの市民が気軽に登って来る様である。景色を十分に楽しんだら、みはらし連山登山口(清水橋登山口)⑬へ向かう。下り一方であるが、急坂が続くので、疲れた足にはかなり堪える。慎重に下ろう。30分程で到着である。登山口から三原駅までは、湧原川沿いに進み、JR高架に沿って右に進むと、20分弱で三原駅北口に着く。

アクセス

鳴滝山登山口へは、三原駅前からトモテツバスで、「登山口」行に乗り、終点で下車。

チェックポイント

以下の写真及び文中の注意点を参照。

オプションルート

もう少し歩きたい場合は、本文中にも述べられている二つのオプションルートを追加すればよい。いずれもピストンである。地図は下記参照。

- (一) 鳴滝城山へは、往復約20分。道は余り整備されておらず、一部は藪漕ぎの覚悟が必要。距離は往復で約800m。
- (二) 鳴滝山へは往復約30分。三分の二程進んだ地点で分岐(右折)があるが、標識が見つけないので、注意する事。距離は2km弱。



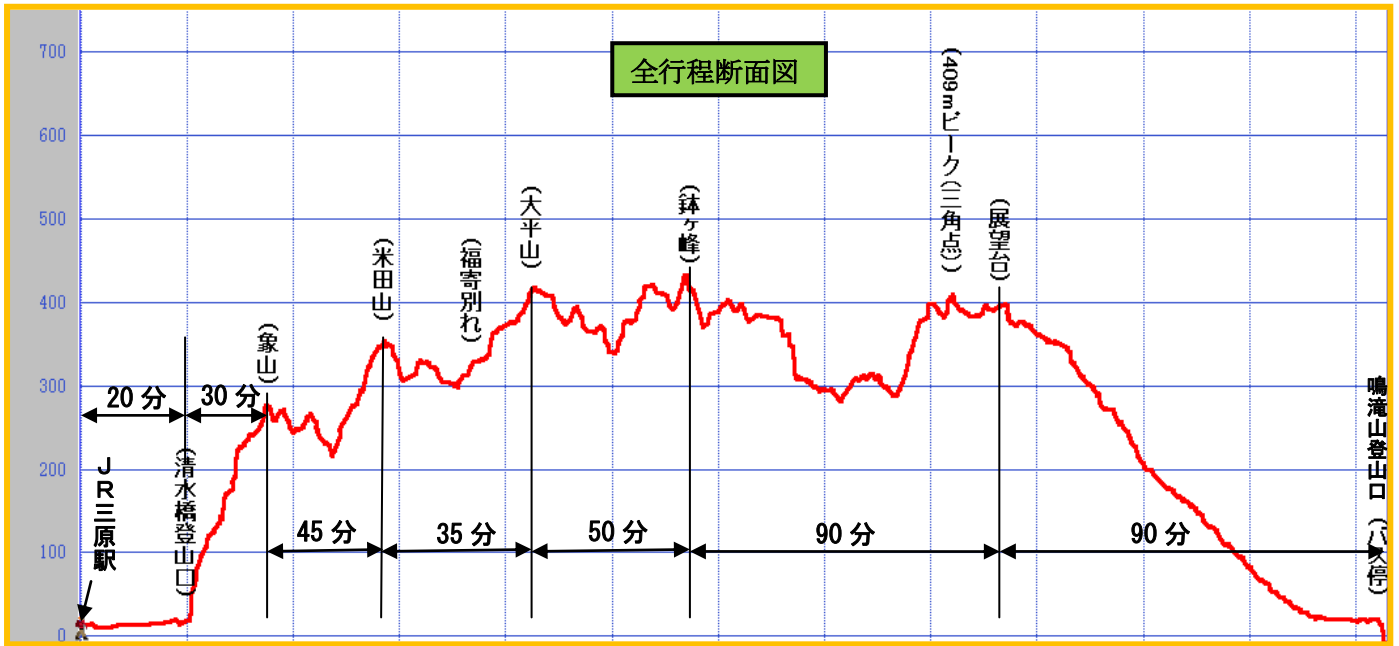
ポイント②にある鳴滝城山登山口



オプションルート地図



鳴滝城山山頂 →



ポイント②：この標識に従い、車道から別れ山道へ



八注池 ③



展望台 ④



← ポイント⑩：この標識に従い、車道から別れ、山道へ



ポイント⑦：この標識に従い鋭角に曲がる



象山山頂⑫：三原市街が目の前に広がる